

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年2月14日

上場会社名 チエル株式会社 上場取引所 東
コード番号 3933 URL <https://www.chieru.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役会長 (氏名) 川居 睦
問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 若松 洋雄 (TEL) 03-6712-9721
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,315	21.3	389	△7.7	447	4.1	313	5.1
2023年3月期第3四半期	2,732	△12.7	421	△5.8	430	△14.6	297	△20.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 312百万円(4.8%) 2023年3月期第3四半期 297百万円(△20.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	42.01	41.89
2023年3月期第3四半期	39.79	39.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,195	2,699	43.3
2023年3月期	6,701	2,525	37.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 2,683百万円 2023年3月期 2,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	16.4	650	5.1	650	4.7	450	6.3	60.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	7,869,000株	2023年3月期	7,869,000株
2024年3月期3Q	447,290株	2023年3月期	375,690株
2024年3月期3Q	7,454,095株	2023年3月期3Q	7,484,401株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことによって経済社会活動の正常化が進展し、景気が緩やかに回復しています。

学校教育を取り巻く環境としては、我が国の総合的な教育計画である「第4期教育振興基本計画」（計画期間2023～2027年度）が2023年6月に閣議決定され、当該計画の実効性確保に不可欠とされるICT環境に関し、1人1台端末の持続的な活用やネットワーク環境の更なる改善に取り組むことが示されています。また、ICT環境整備に係る財政措置が2024年度まで延長されておりますが、2025年度以降の新たな整備方針の策定に向けた検討が文部科学省によって進められている状況です。

大学においても、DX推進が叫ばれており、各校が主体的に学修及び情報基盤の両面で環境整備を進めております。

社会活動が正常化したことで、進路相談会等の対面型イベント、学校行事である音楽鑑賞会・芸術鑑賞会が開催できる状況へと戻りました。

このような市場動向のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,315,315千円（前年同期比21.3%増）、営業利益は389,308千円（前年同期比7.7%減）、経常利益は447,983千円（前年同期比4.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は313,139千円（前年同期比5.1%増）となりました。

なお当社の業績の特性として、第2四半期及び第4四半期において、売上高及び営業利益が偏重する傾向がありましたが、近時では、顧客との契約期間にわたって収益を計上する取引が増加してきており、季節の変動は縮小していく傾向にあります。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

(学習部門)

学習部門においては、小学校・中学校市場向けサービスである授業支援ツール「InterCLASS Cloud」及び運用管理ツール「InterCLASS Console Support」並びに高等学校・大学市場サービスであるオンライン授業支援・語学学習支援システム「CaLabo MX」が前期に引き続き安定的な収益基盤を維持しております。また、株式会社東京音楽鑑賞協会及び四国チエルクリエイティブ株式会社の業績が新たに連結に加わったことで前年同期比増収となりました。しかしながら、高等学校向けの大型案件の導入が前期に一部先行して行われたことで前年同期比減益となりました。以上の結果、売上高は1,650,078千円（前年同期比45.9%増）、セグメント利益は404,412千円（前年同期比7.7%減）となりました。

(進路部門)

進路部門においては、直前に全国でまん延防止等重点措置が解除された前年同期に比べ、進路相談会の開催件数が減少したことから、進路相談会の収益は前年同期比で減収減益となりました。また、学生による志望校選択及び学校による学生確保の両面から進路選択の時期は早まる傾向にあり、一部の専門学校でオープンキャンパスの開催が春休みに移ったことから、媒体の発刊・納品が3月以前に早まり、媒体による収益も前年同期比で減収となりました。以上の結果、売上高は847,013千円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は56,953千円（前年同期比50.6%減）となりました。

(情報基盤部門)

情報基盤部門においては、小学校・中学校市場向けフィルタリングツール「InterCLASS Filtering Service」が前期に引き続き安定的な収益基盤を維持した他、無線LAN最適化ソリューション「Tbridge」の受注が堅調に推移したことで前年同期比増収増益となりました。以上の結果、売上高は818,224千円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益は228,661千円（前年同期比16.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、6,195,413千円（前連結会計年度末は6,701,849千円）となり、506,436千円減少しました。これは主に、ソフトウェアの増加103,304千円及び投資その他の資産の増加146,289千円
の一方、現金及び預金の減少596,393千円及び売掛金の減少198,914千円によるものです。

負債の額は、3,496,047千円（前連結会計年度末は4,176,285千円）となり、680,238千円減少しました。これは主に契約負債の減少426,293千円、買掛金の減少98,234千円及び長期未払金の減少30,812千円によるものです。なお、契約負債の減少は主に「InterCLASS Cloud」及び「InterCLASS Filtering Service」など当社における運用サービスの収益を契約期間にわたり売上に計上したことによるものであり、長期未払金の減少は子会社における役員及び従業員に対する退職金支給に伴うものです。

純資産の額は、2,699,366千円（前連結会計年度末は2,525,563千円）となり、173,802千円増加しました。これは主に利益剰余金の増加222,320千円及び自己株式の増加48,261千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月15日付「2023年3月期決算短信」において公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,106,035	3,509,641
売掛金	676,275	477,360
商品	124,800	108,201
貯蔵品	11,498	14,523
前渡金	363,293	336,773
その他	47,876	58,625
貸倒引当金	△918	△263
流動資産合計	5,328,860	4,504,862
固定資産		
有形固定資産	52,759	151,730
無形固定資産		
ソフトウェア	147,005	250,309
ソフトウェア仮勘定	58,029	25,777
のれん	213,556	219,303
その他	5,000	500
無形固定資産合計	423,590	495,891
投資その他の資産	896,638	1,042,928
固定資産合計	1,372,989	1,690,551
資産合計	6,701,849	6,195,413

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,035	76,801
短期借入金	27,626	22,812
未払法人税等	87,750	41,372
契約負債	3,186,951	2,760,658
賞与引当金	106,780	56,175
役員賞与引当金	7,344	8,969
その他	203,849	196,553
流動負債合計	3,795,338	3,163,341
固定負債		
長期借入金	79,374	63,265
退職給付に係る負債	4,879	3,558
役員退職慰労引当金	50,000	50,000
長期未払金	246,693	215,881
固定負債合計	380,947	332,705
負債合計	4,176,285	3,496,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,359	336,359
資本剰余金	122,306	123,070
利益剰余金	2,445,063	2,667,384
自己株式	△395,049	△443,311
株主資本合計	2,508,680	2,683,503
新株予約権	14,124	14,120
非支配株主持分	2,759	1,742
純資産合計	2,525,563	2,699,366
負債純資産合計	6,701,849	6,195,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	2,732,648	3,315,315
売上原価	981,238	1,387,352
売上総利益	1,751,410	1,927,963
販売費及び一般管理費	1,329,657	1,538,655
営業利益	421,753	389,308
営業外収益		
受取利息	499	453
受取配当金	1,203	1,145
持分法による投資利益	4,846	57,262
出資金運用益	-	774
助成金収入	394	500
貸倒引当金戻入額	4,552	655
その他	826	1,701
営業外収益合計	12,322	62,491
営業外費用		
支払利息	47	587
出資金運用損	291	-
為替差損	3,432	2,717
自己株式取得費用	63	500
その他	-	10
営業外費用合計	3,834	3,815
経常利益	430,240	447,983
特別利益		
保険解約返戻金	8,607	-
固定資産売却益	-	3
特別利益合計	8,607	3
特別損失		
固定資産除却損	-	2,796
資産除去債務履行差額	-	7,290
関係会社株式売却損	-	537
特別損失合計	-	10,624
税金等調整前四半期純利益	438,847	437,361
法人税等	141,007	125,238
四半期純利益	297,840	312,123
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△1,016
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,840	313,139

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	297,840	312,123
四半期包括利益	297,840	312,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,840	313,139
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△1,016

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力 発生日	配当の 原資
2022年 5月23日 取締役会	普通株式	22,548	3.0	2022年 3月31日	2022年 6月30日	繰越利益 剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2022年3月10日開催の取締役会決議に基づき、2022年4月1日から2022年4月6日までに自己株式13,700株の取得を行い、この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が13,088千円増加しております(なお、2022年3月11日から2022年3月31日までの自己株式取得は、86,300株、76,666千円であり、2022年3月11日から2022年4月6日までの自己株式取得合計は、100,000株、89,754千円であります)。

また、2022年7月11日開催の取締役会決議に基づき、2022年7月27日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式9,200株の処分を行い、この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が9,816千円減少しております。

これらの他、単元未満株式75株の買取による自己株式の増加64千円、ストック・オプションの行使に伴う自己株式4,200株の処分による自己株式の減少4,481千円がございました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が397,183千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力 発生日	配当の 原資
2023年 5月23日 取締役会	普通株式	37,588	5.0	2023年 3月31日	2023年 6月30日	繰越利益 剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2023年6月5日開催の取締役会決議に基づき、2023年6月6日から2023年12月31日までに自己株式100,000株の取得を行い、この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が72,225千円増加しております。2021年6月25日開催の取締役会決議に基づき、2021年7月13日に発行した第7回新株予約権の当第3四半期連結累計期間の行使による自己株式の処分4,000株により、自己株式が3,964千円減少し、その他資本剰余金が763千円増加しました。

また、2023年9月に持分法適用関連会社であった株式会社ダイヤ書房の株式を一部売却し、持分法適用の範囲から除外したことに伴い、同社が保有する当社株式122,000株について、当社持分相当であった24,400株の自己株式20,000千円が当第3四半期連結累計期間において減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が443,311千円、その他資本剰余金が86,710千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	学習部門	進路部門	情報基盤部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,131,304	881,765	719,578	2,732,648	—	2,732,648
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,131,304	881,765	719,578	2,732,648	—	2,732,648
セグメント利益又は損失 (△)	438,301	115,364	197,120	750,785	△329,032	421,753

(注) セグメント利益の調整額△329,032千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	750,785
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△329,032
四半期連結損益計算書の営業利益	421,753

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	学習部門	進路部門	情報基盤部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,650,078	847,013	818,224	3,315,315	—	3,315,315
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,650,078	847,013	818,224	3,315,315	—	3,315,315
セグメント利益又は損失 (△)	404,412	56,953	228,661	690,026	△300,718	389,308

(注) セグメント利益の調整額△300,718千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	690,026
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△300,718
四半期連結損益計算書の営業利益	389,308

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。